

# 私たちも呼びかけます。

(順不同・敬称略)

浅井 基文	明治学院大学教授	山口 勇子	作家
井上 ひさし	作家	赤松 宏一	日本原水協事務局長
小山内 美江子	脚本家	澤藤 統一郎	弁護士
田島 征三	画家	長谷川洋一	東京平和委員会理事長代行
秋間 実	東京都立大学名誉教授	松尾 高志	ジャーナリスト
四位 直毅	弁護士	銀林 浩	明治大学教授
平田 熙	東京農工大学名誉教授	金子 勝	立正大学教授
松島 暁	弁護士	須田 博	日本平和委員会事務局長
関 恒義	一橋大学名誉教授	彦坂 敏尚	弁護士
本谷 勲	東京農工大名誉教授	宇藤 義隆	日本平和委員会理事
前川 雄司	弁護士	河内 謙策	弁護士
畑田 重夫	国際政治学者	岡田 順子	神戸商船大学
内藤 功	弁護士	松井 康浩	弁護士
宮川 彰	東京都立大学教授	浦田 一郎	一橋大学教授
藤原 真由美	弁護士	平岩 敬一	弁護士
五十子 満大	都立大学助手	田沼 肇	法政大学名誉教授
藤田 敏夫	環境科学研究者	黒澤 計男	弁護士
小林 勇	日本平和委員会常任理事	新倉 修	國學院大学教授
増田 善信	気象学者	館 充	東京大学名誉教授
佐藤 昌一郎	法政大学教授	阿部 一雅	日本科学者会議常任幹事
榎本 信行	弁護士	浜林 正夫	一橋大学名誉教授
正木 信一	東京平和委員会会長	山口 啓二	元東京大学教授
岩崎 允胤	大阪経済法科大学教授	宮城 康博	名護市・ヘリ基地反対協代表
小森 香子	詩人	手塚 陽	映画監督
早乙女 勝元	作家	泉澤 章	弁護士
福山 秀夫	日本平和委員会理事		

ピーター・アーリングダ(弁護士・米国防務省・ロイヤル・ギルド元議長) C. Peter Erlinder (Past President of National Lawyer's Guild,

Professor "WILLIAM MITCHELL COLLEGE OF LAW")

コラソン・ファブロス(非核フィリピン連合事務局長) Corazon Fabros (Nuclear-Free Philippines Coalition/Secretary General)

アレン・ネルソン(元海兵隊員) Allen Nelson (Camden Youth Center Director. Remove Troops from Okinawa Network)

# 私たちも賛同します。

(順不同・敬称略)

鎌田 慧	ジャーナリスト	森村 誠一	作家
太田 幸男	東京学芸大学教授	丸木 政臣	教育学者
小林 亜星	作曲家	高山 俊吉	弁護士
石井 麦生	弁護士	滝沢 正彦	一橋大学教授
宮地 正人	東京大学教授	亀井 淳	ジャーナリスト
中本 源太郎	弁護士		

マーマチュア・ビロ(ポリネシア解放戦線) Maamaatua Viro (Polynesian Liberation Front)

マーマチュア・ヒナ( " ) Maamaatua Hina (Polynesian Liberation Front)

ジェラルド・オブライエン(ニュージーランド平和評議会) Gerald O'Brien (Peace Council of Aotearoa-New Zealand/President of Honour)

ファウスタ・オブライエン(ニュージーランド平和評議会) Fausta O'Brien (Peace Council of Aotearoa-New Zealand)

M・ラジャガン(インド労働組合センター) M. Rajangam Mahalingam (Centre of Indian Trade Unions/General Council Member)

V・B・チュリアン( " ) V. B. Cherian (Centre of Indian Trade Unions/All India Secretary)

ナター・シン( " ) Natha Singh (Centre of Indian Trade Unions/General Council Member)

スリマンジャリ(民主教員戦線) Srimanjari (Democratic Teachers Front)

ベータ・サルワル(ザ・ニュース・オン・サンデー) Beena Sarwar (Editor, The News on Sunday/Human Rights Commission of Pakistan)

ナジル・アリ・カシム(パキスタン社会主義党) Nazir Ali Qasim (Pakistan Socialist Party-Rawalpindi/Islamabad/President)

ゲン・バン・フィン(ベトナム平和委事務局長) Nguyen Van Huynh (Vietnam Peace Committee/General Secretary)

エレン・ブドビチエンコ(フランス平和運動) Helen Vdovitchenko (Le Mouvement de la Paix)

ジョゼフ・カーソン(アメリカフランス奉仕委員会) Joseph C. Gerson (American Friends Service Committee)

ロメシュ・チャンドラ(世界平和評議会議長) Romesh Chandra (World Peace Council/President of Honour)

## 米軍・防衛施設庁・東京都に「約束」を守らせ、 米軍臨時ヘリポートを公園にもどすことを要求する、緊急アピール

東京・港区六本木7丁目。

こんな都心のど真ん中に、31,670平方メートルの米軍基地があります。「赤坂プレスセンター」。米軍のヘリポートです。「麻布米軍ヘリ基地」と呼んでいます。

都立青山公園や東京大学生産技術研究所・物性研究所のある東京大学麻布キャンパスとフェンス1枚で接しています。周辺に住み・働く人々は、日々、ヘリコプターの騒音・振動に悩まされ、墜落の危険に脅かされています。

1983年8月、東京都・防衛施設庁・在日米軍は、基地の地下を通る道路 - 六本木トンネル工事のための「協定」を結びました。

「協定」は、工事中は「都立青山公園」の4,300平方メートルを臨時ヘリポート用地として追加提供し、工事が終わったら「原状復旧」する、つまり「公園にかえす」と約束しています。

1993年3月。工事は終わり、トンネルも開通しました。

しかし、5年たった今でも「公園」の4,300平方メートルは、基地のまま。ヘリコプターは、騒音とともに毎日離着陸しています。

「広いほうが安全だ」と米軍は言っています。「米軍がこのまま使いたいと言っている」と防衛施設庁は言っています。「再三要請しているが...」と東京都は言っています。

でも、ここはみんなの公園です。

私たちは、「約束は守ってください」「野球やサッカーの練習ができる、子どもたちが遊べる公園を返してほしい」と、本当にあたりまえのことを言っているだけなのです。

もう5年も約束破りがつづいています。こんな事は絶対に許せません。

アメリカ軍は、約束どおり青山公園を返して下さい。

防衛施設庁は、アメリカ軍に約束を守らせて下さい。

東京都は、アメリカ軍から青山公園を取り戻して下さい。

1998年・春

署 名	住 所

取扱団体：